

13 次の世代につなげる

- ・森林と私たちの暮らし、経済がともに持続可能で豊かな社会づくりに向けて、次の世代へ働きかけを行う
- ・森林や木、木材に親しみ、自ら考え、判断して行動できる人づくりに取り組む

取組事例

54

みえ森林教育アドバイザー派遣

～ 専門家と一緒に考える、森林をフィールドとした保育活動 ～

社会福祉法人 微笑会 きしだこども園



2 回目：保育士を対象とした勉強会の様子

実施時期	令和 5 年10月～令和 6 年 1 月
実施場所	きしだこども園及び周辺山林
時間	1 回目：3 時間30分 2 回目：3 時間 3 回目：4 時間
対象・人数	保育士他園関係者 6 人
講師	嘉成永慈氏
備考	県事業

めざす姿	13 次の世代につなげる 01 遊び・楽しむ 02 親しむ 03 興味・関心を持つ 04 違いに気づく、 05 変化に気づく、 06 知識・技能を身に付ける、 08 地域の課題に目を向ける、 10 課題解決への参画、 11 行動を起こす、 12 仲間と活動する）
ねらい	森林を活用した保育活動への保育士の理解を深め、実施に向けた課題解決に取り組む
内容	1 回目・自然保育の候補地を視察し、保育を行うフィールドとして課題となる要素を確認する ・園から自然保育に取り組もうとする経緯や課題について聞き取る ・2 回目以降の進め方を調整する 2 回目・自然保育に対する保育士の不安や疑問を解消するため、保育士を対象として勉強会を実施し、自然保育への理解を深める 3 回目・5 歳児を対象に専門家の指導の下、自然保育を実践する（午前中） ・実践に対するふりかえりを行い、今後、自然保育を進めていくうえでの課題や展望を整理する



1 回目：自然保育の候補地の視察の様子



3 回目：自然保育の実践の様子

取組の結果	・勉強会を実施することで、保育士と園の間で自然保育に対する共通認識が持てた。 ・ケガ等の事故が発生した際の対処法が明確になり、緊急連絡網や対応マニュアルの整備を進めることになった。 ・自然保育を取り入れるため、園の保育計画を見直すこととなった。
保育士の反応	・森林教育のすばらしさをあらためて実感した。 ・児童の行動にあまり干渉せず、子供たちの自主性に任せられるようにする。 ・今後は森での自然保育の時間を少しずつでも増やしていきたい。